

2020年3月期 連結業績概要

2020年5月12日

太陽誘電株式会社
経営企画本部長
増山 津二

2020年3月期 業績概要

- 売上高2,823億円(前期比3%増)、営業利益372億円(同6%増)で増収増益。
- 売上高と営業利益は、過去最高を更新。
- コンデンサは前期比3%増収。電装化が進む自動車向けの売上拡大が成長を牽引。

2021年3月期 業績予想

- 第1四半期は、売上高600億円(前四半期比12%減)、営業利益30億円(同59%減)を計画。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算定することは困難であるため、通期業績予想は未定。

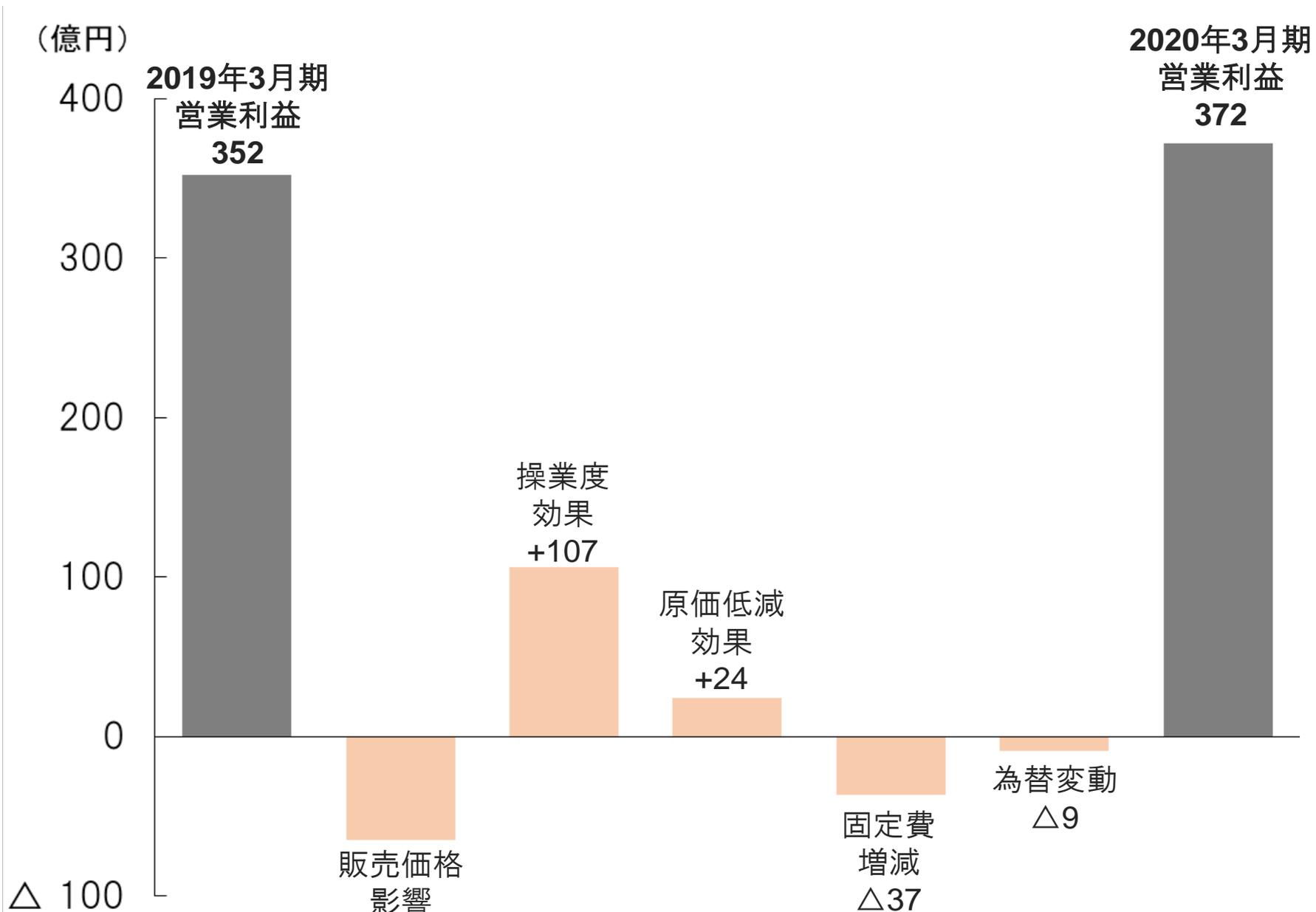
2020年3月期 連結業績概要

百万円	2019年3月期		2020年3月期		増減	
売上高	274,349	100.0%	282,329	100.0%	7,980	2.9%
営業利益	35,237	12.8%	37,176	13.2%	1,938	5.5%
経常利益	34,351	12.5%	35,165	12.5%	813	2.4%
親会社株主に 帰属する当期純利益	23,687	8.6%	18,022	6.4%	△5,664	△23.9%

対米ドル期中平均レート	110.49円	109.06円	1.43円円高
為替変動による影響額	売上高△39億円、営業利益△9億円 ※米ドル以外の通貨影響含む		

研究開発費	13,039	12,921	△117	△0.9%
設備投資額	38,570	39,365	794	2.1%
減価償却費	26,547	27,022	475	1.8%

2020年3月期 營業利益增減要因

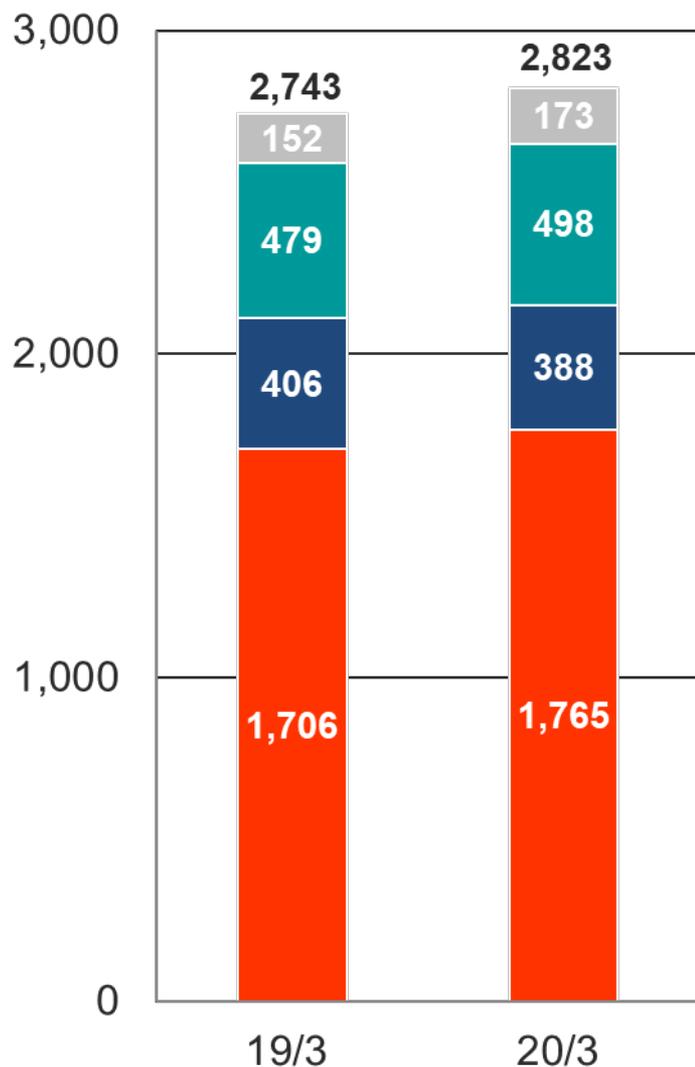


2020年3月期 製品別売上高

百万円	2019年3月期		2020年3月期		増減	
	売上高	比率	売上高	比率	増減額	増減率
コンデンサ	170,633	62.2%	176,457	62.5%	5,824	3.4%
フェライト及び応用製品	40,595	14.8%	38,770	13.7%	△1,825	△4.5%
複合デバイス	47,930	17.5%	49,808	17.6%	1,877	3.9%
その他	15,189	5.5%	17,292	6.1%	2,103	13.8%
合計	274,349	100.0%	282,329	100.0%	7,980	2.9%

2020年3月期 製品別売上高

(億円)



■ **コンデンサ** (前期比+3.4%)

電装化が進む自動車向けの売上拡大が成長を牽引。基地局通信装置など情報インフラ・産業機器向けも増加。

■ **フェライト及び応用製品** (前期比△4.5%)

自動車向けは増加したものの、民生機器向け、情報機器向け、情報インフラ・産業機器向けなどが減少。

■ **複合デバイス** (前期比+3.9%)

通信デバイス(FBAR/SAW)が増加。

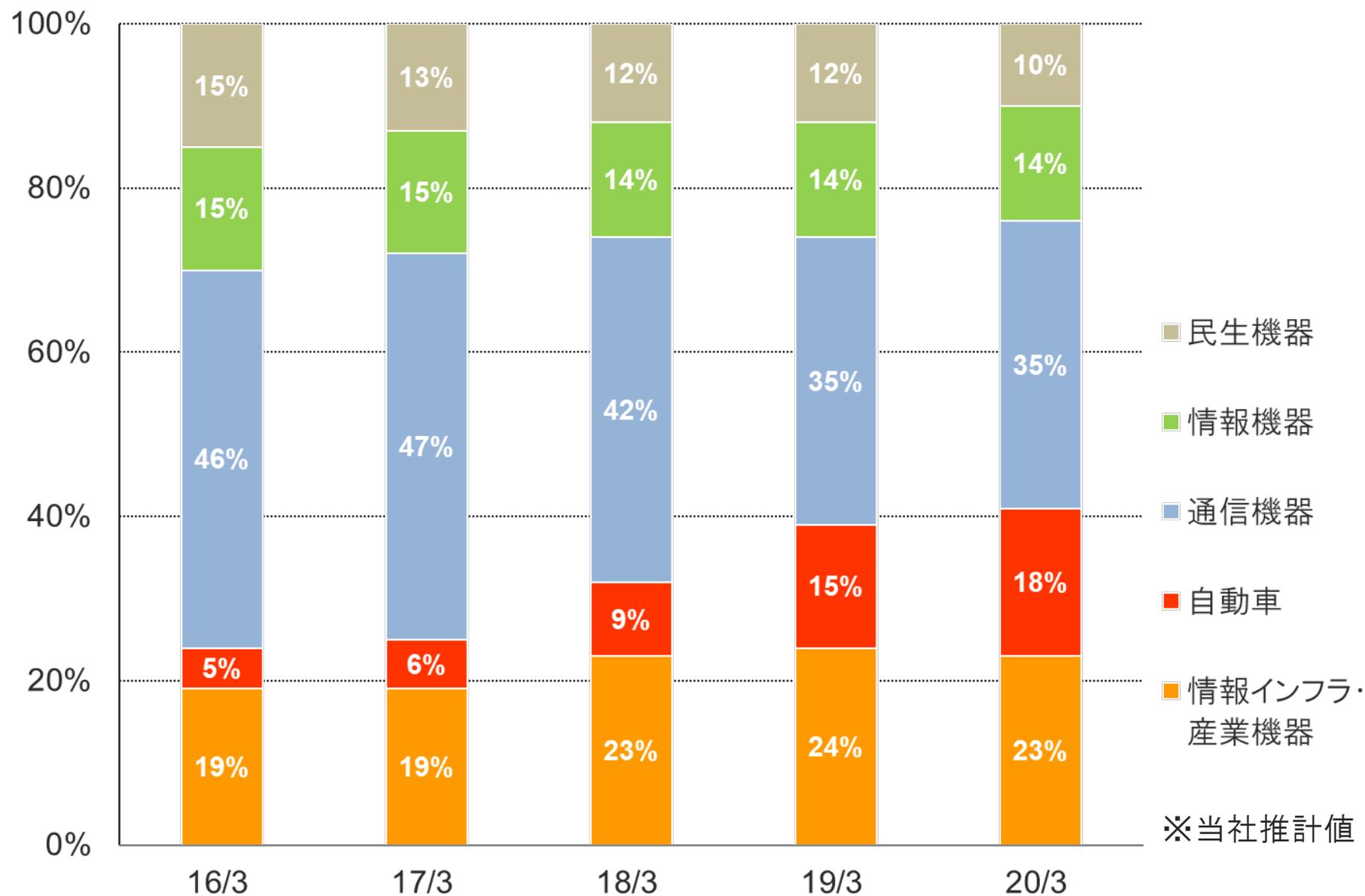
■ コンデンサ

■ フェライト及び応用製品

■ 複合デバイス

■ その他

2020年3月期 用途分野別売上構成



2021年3月期第1四半期 連結業績予想

2021年3月期第1四半期 連結業績予想

百万円	2020年3月期 第4四半期		2021年3月期 第1四半期 予想		増減	
売上高	68,233	100.0%	60,000	100.0%	△8,233	△12.1%
営業利益	7,431	10.9%	3,000	5.0%	△4,431	△59.6%
経常利益	6,835	10.0%	2,500	4.2%	△4,335	△63.4%
親会社株主に 帰属する当期純利益	△1,975	—	1,500	2.5%	3,475	—
対米ドル期中平均レート	109.54円		(前提) 107.00円		2.54円円高	

2021年3月期第1四半期 製品別売上高予想

百万円	2020年3月期 第4四半期		2021年3月期 第1四半期 予想		増減	
	売上高	比率	売上高	比率	増減額	増減率
コンデンサ	43,738	64.1%	39,000	65.0%	△4,738	△10.8%
フェライト及び応用製品	9,090	13.3%	8,000	13.3%	△1,090	△12.0%
複合デバイス	11,226	16.5%	10,000	16.7%	△1,226	△10.9%
その他	4,178	6.1%	3,000	5.0%	△1,178	△28.2%
合計	68,233	100.0%	60,000	100.0%	△8,233	△12.1%

新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の影響

生産

フィリピン、マレーシアの生産拠点は、行政当局による活動・移動制限に伴う制約はあるが、稼働中。他の地域では通常稼働。

販売

顧客企業の生産動向、各機器の最終需要などを注視。

調達

一部サプライヤからの調達に支障はあるが、商流変更や在庫活用などで対応。

物流

航空便減便に伴い、物流リードタイムの長期化、物流費の上昇が発生。代替便や代替ルートによる輸送で対応。

生産拠点の稼働状況

国名	会社名	主な生産品目	稼働状況
日本	太陽誘電、福島太陽誘電、新潟太陽誘電、和歌山太陽誘電、太陽誘電モバイルテクノロジー など	積層セラミックコンデンサ、インダクタ、通信デバイス、モジュールなど	通常稼働中
韓国	韓国慶南太陽誘電	積層セラミックコンデンサ	通常稼働中
中国	太陽誘電(天津)電子	インダクタ	通常稼働中
	太陽誘電(廣東)	積層セラミックコンデンサ	通常稼働中
フィリピン	TAIYO YUDEN (PHILIPPINES)	インダクタ	稼働中 (制約あり)
マレーシア	TAIYO YUDEN (SARAWAK)	積層セラミックコンデンサ	稼働中 (制約あり)
	ELNA-SONIC	アルミ電解コンデンサ	通常稼働中
タイ	TANIN ELNA	アルミ電解コンデンサ	通常稼働中

補足資料

連結業績推移(半期)

百万円	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	118,180	125,937	133,565	140,783	141,908	140,420
コンデンサ	66,767	76,091	80,168	90,464	87,812	88,645
フェライト及び応用製品	20,223	20,753	21,154	19,441	19,376	19,393
複合デバイス	29,582	27,256	26,369	21,561	25,960	23,848
その他	1,606	1,836	5,873	9,316	8,759	8,533
営業利益	8,775	11,445	14,703	20,534	20,298	16,877
経常利益	10,021	10,531	15,385	18,966	19,176	15,988
親会社株主に 帰属する当期純利益	7,378	8,976	10,980	12,707	15,332	2,690

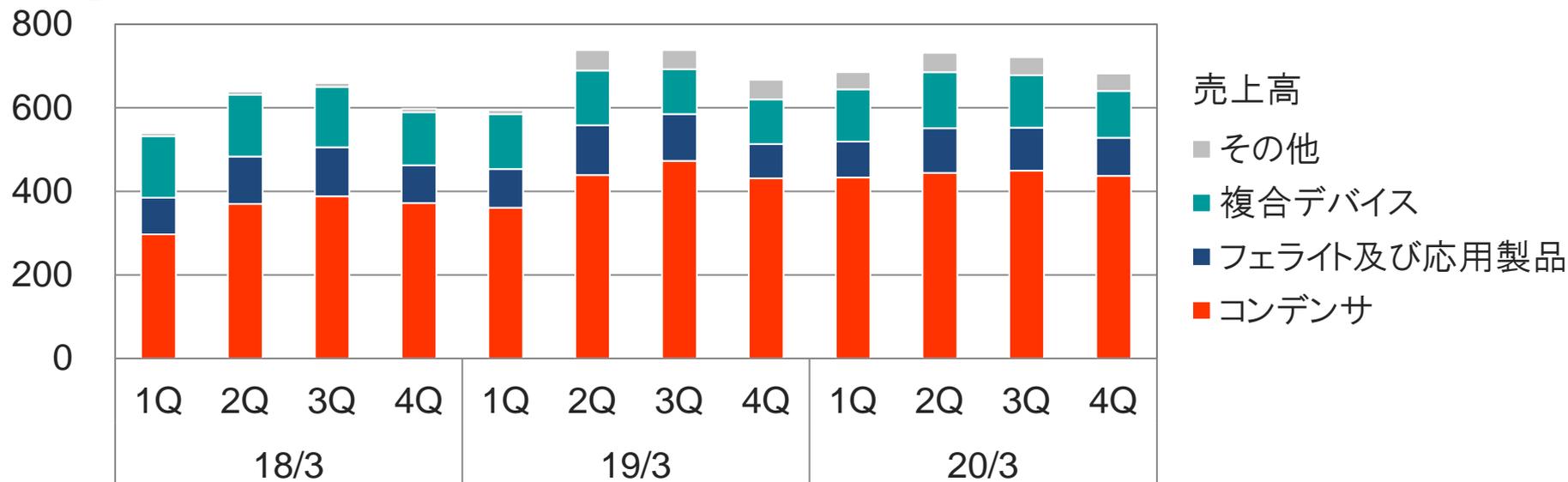
対米ドル期中平均レート	111.46円	111.43円	109.30円	111.67円	109.26円	108.86円
-------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

連結業績推移(四半期)

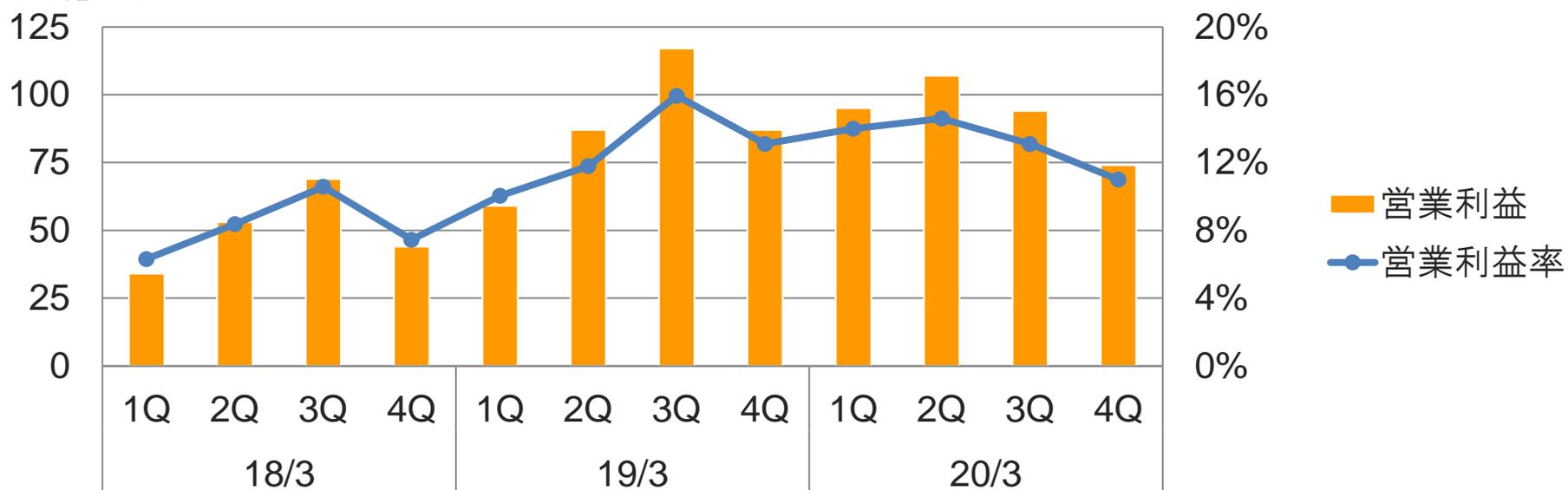
百万円	2019年3月期				2020年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	59,576	73,989	73,963	66,820	68,635	73,272	72,187	68,233
コンデンサ	36,184	43,984	47,362	43,101	43,338	44,473	44,907	43,738
フェライト 及び応用製品	9,228	11,926	11,209	8,231	8,633	10,742	10,303	9,090
複合デバイス	13,208	13,160	10,783	10,778	12,523	13,436	12,621	11,226
その他	954	4,918	4,607	4,708	4,139	4,620	4,354	4,178
営業利益	5,981	8,722	11,789	8,744	9,595	10,703	9,446	7,431
経常利益	6,896	8,489	11,403	7,562	8,846	10,330	9,152	6,835
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,645	5,334	9,069	3,638	7,151	8,180	4,666	△1,975
対米ドル 期中平均レート	107.76円	110.84円	112.71円	110.64円	110.95円	107.58円	108.17円	109.54円

連結業績推移(四半期)

(億円)



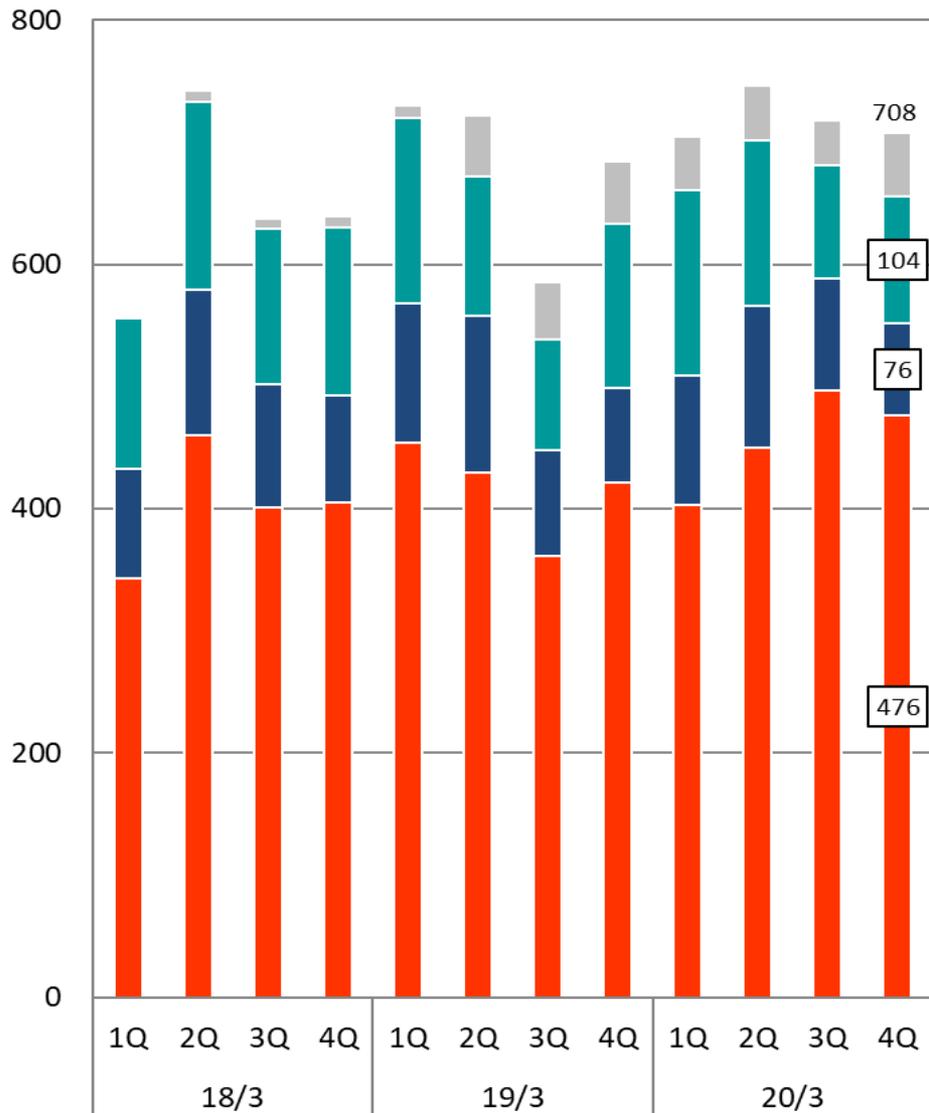
(億円)



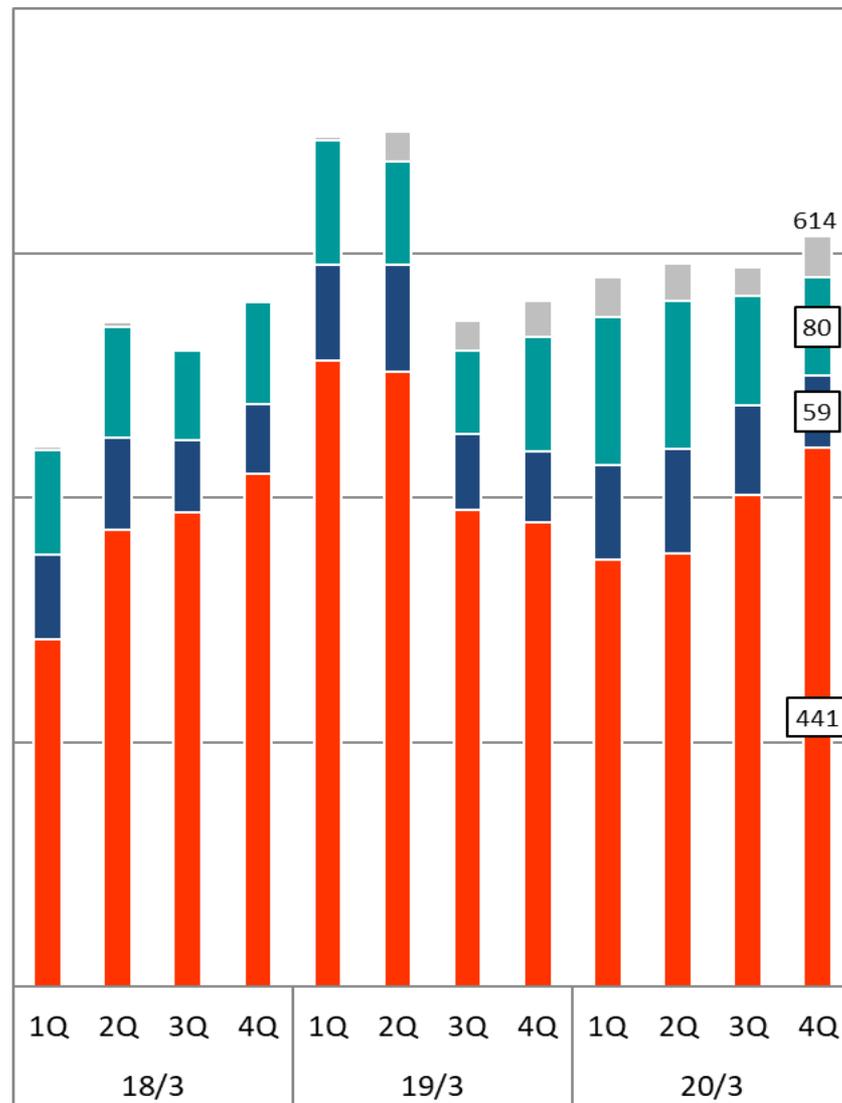
受注高・受注残高推移(四半期)

(億円)

受注高

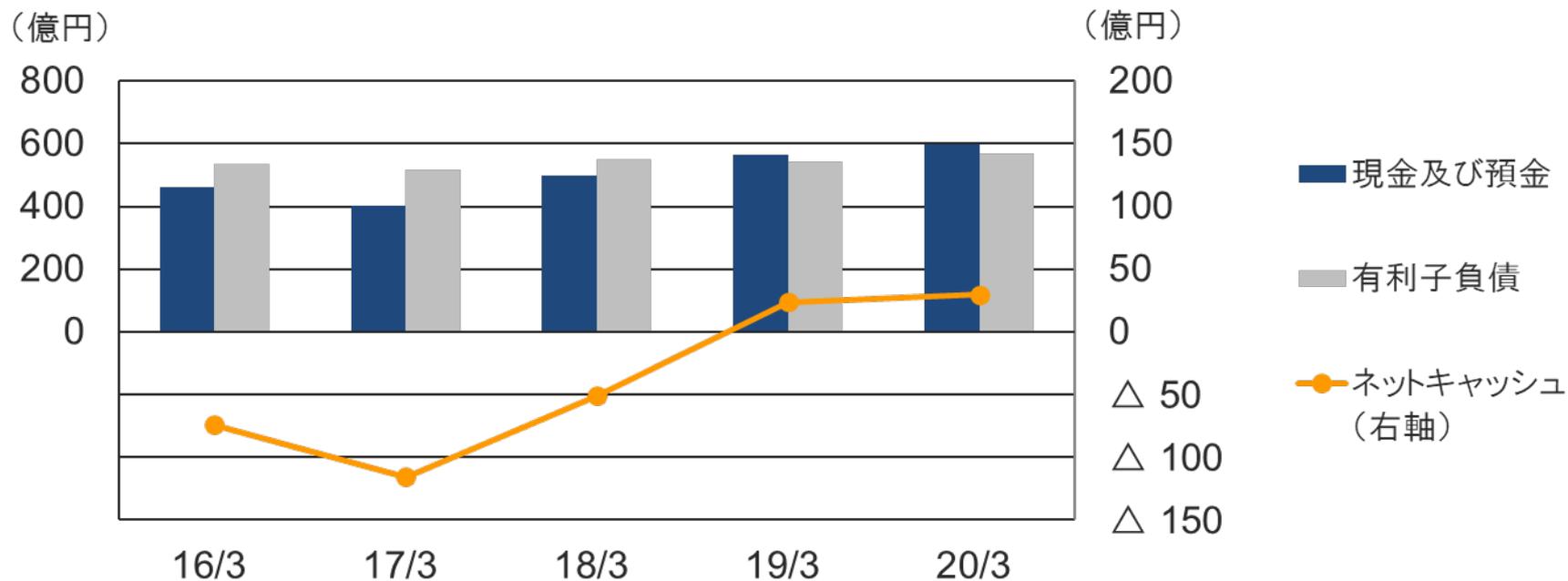
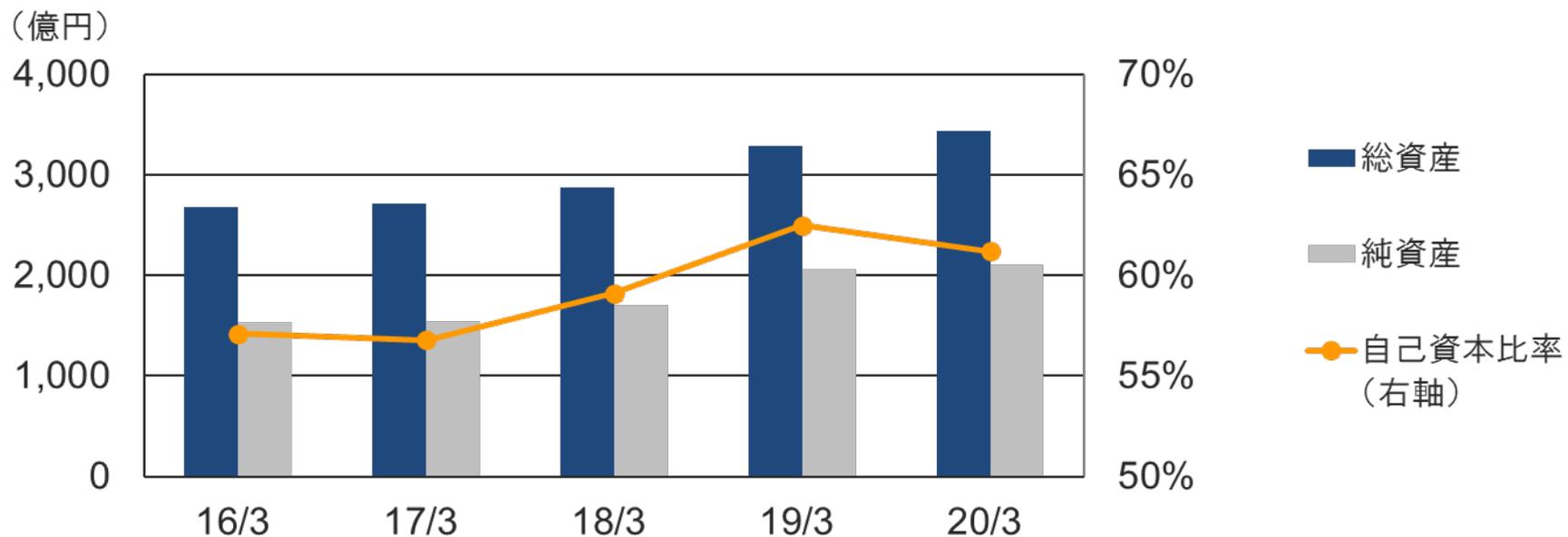


受注残高



■ コンデンサ
 ■ フェライト及び応用製品
 ■ 複合デバイス
 ■ その他

連結財政状態



当資料に記載されている、当社(太陽誘電株式会社、および当社グループ)に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

TAIYO YUDEN